

近況報告(現状と課題・取り組み)

(1)施設福祉サービス部

① 特別養護老人ホーム阿品清鈴

現状と課題	取り組み
1. 新型コロナウイルスワクチンの集団接種を行ったが、引き続き感染予防対策は継続しており、イベントやご家族との関りが薄くなっている。	1. コロナ禍においても出来る事を実施している。感染状況が少ないようであればシート越しの面会、増えてきたらWEB面会で対応している。また、ご利用者が看取り期の場合は、静養室(個室)での面会者に防護服等を着用していただき直接面会(短時間)で対応している。
2. 5/1付で、入所定員 54 床→58 床に変更した。	2. 入所待機者が多いため、ショートステイの部屋を1部屋特別養護老人ホームに転換し、車椅子など必要な物品も購入した。
3. 8/30～脱衣室の改修工事を行う。浴室も計画的に改修を行う。	3. 業者と話し合いながら、改修計画を考えた。緊急事態宣言中なので、マスク・検温・手指消毒などお願いしている。
4. 職員の募集を行っているが、殆んど連絡がない状態が続いている。	4. 研修システム委員会で資格のない方でも安心して仕事ができるプログラムを作成中。無資格の方が来られても施設で育成し働ける環境を整備している。

② ケアハウスささえ

現状と課題	取り組み
1. 県からの指摘があり、5/1付で定員 32 名→30 名に変更した。	1. 一人部屋に退居があり二人部屋に一人で居住の方が移動して、二人部屋入居可能となり、30 名定員に達する予定。
2. ケアハウス入居者のADL低下に伴い、自律を尊重した自立支援の必要性が高まり、入居者間での共有の必要性が生じている。	2. 入居者懇談会で、ご入居者の心身状態の変化の際は本人の意思を確認しながら身元保証人と共に、安心できる生活の継続について相談していることを伝え、安心したとの感想をもらった。ご入居者の身体状況の変化に応じて、施設内のインフォーマルサービス(助け合い)について明記されたケアプランを踏まえた入居者間の話し合いを初めて行い、「お互いに安心して関わることができるし勉強になる」という感想をもらった。
3. 新型コロナウイルスワクチンの集団接種を行ったが、感染予防対策は継続している。	3. 引き続き、健康教室の開催や感染予防に配慮した外出、掲示板を利用した入居者間

<p>4. 非常時避難用の車いすを設置した。ベランダ避難路の表示について整備検討中。</p> <p>5. 入居待機者の状況確認を行った。長期にわたる待機での不安が予想される。</p>	<p>交流や、文化祭に向けての協働など、入居者間の交流を促しストレスの軽減に努めている。</p> <p>4. ご入居者も進んで避難路であるベランダの片付けに取り組み、安全な避難路の確保に努めてくれた。</p> <p>5. 昨年に引き続いての定期的な取り組みとして実施した。集計して結果をお知らせして、待機の不安軽減に努める。</p>
---	--

(2) 在宅福祉サービス部

① 短期入所生活介護事業所第2 清鈴園(ショートステイ)

現状と課題	取り組み
<p>1. 特別養護老人ホームの待機者が多い現状と、ショートステイの利用希望者の減少を踏まえ、5/1より定員数16名→12名(一部屋分)に変更した。それに合わせて感染症の管理の観点から居室を集約した。</p> <p>2. 8月の緊急事態宣言で人流を減らす目的で受け入れの制限を行った。</p> <p>3. 8月に特養のベッドが空き、ショートから移行するケースが考えられる。</p>	<p>1. パーテーションを新調し、施設の現状にあった居室環境に変更した。</p> <p>2. ショートステイの特性上、ご家族の都合などで無しにはできないことから、入所受け入れ日を設け、利用開始日、利用終了日を限定した。</p> <p>3. 長めに利用されていたご利用者の入所と、定期利用のご利用者の移行が考えられることから、新規利用者の開拓が必要である。</p>

② デイサービスセンター第2 清鈴園(一般型)

現状と課題	取り組み
<p>1. 感染症の流行による長期欠席者の増加、入院者の増加などで稼働率の低迷が続いている。</p> <p>2. ワクチン接種後の7月のご利用者は過去3ヵ月と比較し増加している。長期欠席から利用再開後の状態変化や、生活リズムが整わず定期的な利用に繋がっていないケースもある。</p>	<p>1. 使用用途の少なかった和室を多機能型居室として改修した。ベッド4台を設置し、利用される皆様が安心して過ごせる空間を整備した。感染症流行状況を踏まえながら新規獲得の広報活動を実施した。</p> <p>2. コロナ自粛によるフレイルについての職員研修を実施した。</p>

③ デイサービスセンター第2 清鈴園地御前北2丁目集会所(愛称:お〜い予防教室)

現状と課題	取り組み
1. 5月の緊急事態宣言集会所が使用できず訪問に切り替えたため一時的に稼働率が低下した。8月からの緊急事態宣言では保険外の受け入れを中止したため稼働率の低下が予想される。	1. 実施場所・実施方法の検討を行い、6月からは場所を変え実施したため、稼働率は持ち直した。

④ デイサービスセンター第2 清鈴園本町集会所(通称:本町デイ)

現状と課題	取り組み
1. 4月より登録者が定員状態となり、8月現在も維持している。	1. 昨年度からの経営改善の取り組みとして、活動内容や対象者などの見直しを行い、特色作りに専念した結果、新規の獲得に繋がった。また、他サテライトデイの利用が難しくなった方の移行先としても機能するようになった。

⑤ デイサービスセンター第2 清鈴園廿日市一丁目集会所(通称:廿日市デイ)

現状と課題	取り組み
1. 6.7月と卒業者が続き、稼働率が低下している。	1. 斎藤脳外科へのPRや地域包括へのPRを行っている。コロナ禍のためサロンへの訪問が難しくご利用者確保が難しい面がある。

⑥ 認知症専用デイサービスセンター第2 清鈴園(愛称:ここの音)

現状と課題	取り組み
1. 今年度に入り、徐々に稼働率が上がっているが、入所される方が複数おられ稼働率が安定していない。複数曜日を利用される方が多い為、入所等で取り消しになった場合、稼働率への影響が大きい。	1. 職員体制や緊急事態宣言の影響により、居宅支援事業所への訪問が難しい状況だが、広報誌を毎月発行したり、居宅支援事業所に積極的に電話を掛けPRを行っている。

⑦ 訪問介護事業所第2 清鈴園

現状と課題	取り組み
1. 訪問A、身体介護ケース増の中、生活支援員の人数が不足している。	1. 訪問Aケースはヘルパー対応し、他、従来ケースは曜日・時間帯変更お願いし、人数不足を補っている。
2. 個々での、接遇マナーに差が生じている。	2. 研修等で、基本に戻って学ぶ。
3. 新規依頼時、敏速に対応している。	3. 引き続き、敏速に対応し、担会等で空き情報配布する。

⑧ 居宅介護支援事業所第2 清鈴園

現状と課題	取り組み
-------	------

1. 複合した課題を抱えるケースが増え、そのケースに時間をかなり費やしている。	1. 複合した課題を抱えるケースを担当ケアマネージャーが一人で抱え込まないように、事業所内で状況を共有、意見交換を行っている。
2. 地域包括支援センターから予防の委託依頼が増えている。	2. 依頼は極力断らず、迅速な対応をしている。

(3)福祉総務部

① 認知症高齢者家族やすらぎ支援事業

現状と課題	取り組み
1. 引き続き新型コロナウイルス感染防止策をとりながら訪問している。	1. ご利用者、支援員に感染予防対策の書面にて再認識してもらいつつ、ご利用者、支援員ともに不安のある場合は訪問休止したケースもある。
2. 新規ケースもあったが、コロナ禍でのご家族の生活リズムの変化、入院、入所により、訪問件数が減っている。	2. 訪問可能な支援員も待機している状況なので、居宅介護支援事業所への活動のPRを行い、訪問を必要としているケースへの訪問に繋げる。
3. 4月から佐伯地域在住のご利用者の担当をすることになった。(現在1ケース)	3. ゆうわせせらぎ園で支援員の顔合わせ後、同行訪問をし、引継ぎを行った。

② 出張介護教室・出前コグニサイズ

現状と課題	取り組み
(出張介護教室) 1. 4月に阿品市民センター、6月に田屋集会所で開催した。	(出張介護教室) 1. 感染症対策をしながら開催。
(出前コグニサイズ) 1. 未実施。	(出前コグニサイズ) 1. 未実施。

③ その他

現状と課題	取り組み
(人材育成) 1. 階層別研修の開催。	(人材育成) 1. 年度計画に予定していた新任研修は実施したが、6.7月の中堅研修はコロナ禍による体制上の理由で中止した。
2. 研修システムを導入し、10年が経過するが、OJT(職員個々に対する計画的な随時指導)の仕組みが不十分である。また、外部研修後の各部署での取り組みもばらつきがあり、効果的なOFF-JT(外部研修等)	2. 研修システム検討委員会において、部会をつくり、OJTや外部研修報告の在り方などを進めていき、委員会で協議決定するよう取り組み始めている。

<p>になっていない。</p> <p>(やすらぎ支援員養成基礎研修)</p> <p>1. 第1、2回の研修が県の緊急事態宣言発令に伴い中止となった。</p> <p>(廿日市市介護予防・生活支援員養成研修)</p> <p>1. 第1、2回の研修が県の緊急事態宣言発令に伴い中止となった。</p> <p>(介護のお仕事「きっかけ講座」)</p> <p>1. 第1、2回の研修が県の緊急事態宣言発令に伴い中止となった。</p> <p>(廿日市市介護人材確保研修修了者コーディネート事業)</p> <p>1. 廿日市市の介護人材の不足状況が把握できていない。</p> <p>2. 介護人材確保について、市内の関係機関との連携が不十分。</p>	<p>(やすらぎ支援員養成基礎研修)</p> <p>1. 申込者には次回の募集要項を送付し、優先的に受講していただくことにした。(新たに第3回の研修を開講することにした)</p> <p>(廿日市市介護予防・生活支援員養成研修)</p> <p>1. 申込者には次回の募集要項を送付し、優先的に受講していただくことにした。(新たに第3、4回の研修を開講することにした)</p> <p>(介護のお仕事「きっかけ研修」)</p> <p>1. 申込者には次回の募集要項を送付し、優先的に受講していただくことにした。(新たに第3、4回の研修を開講することにした)</p> <p>(廿日市市介護人材確保研修修了者コーディネート事業)</p> <p>1. 廿日市市と協議し、市内事業者にアンケートを行っている。</p> <p>2. ハローワーク廿日市、廿日市市との連携及び、廿日市市社会福祉協議会とも現状の課題や今後の取組について協議の場を持った。</p>
---	--